

開発中

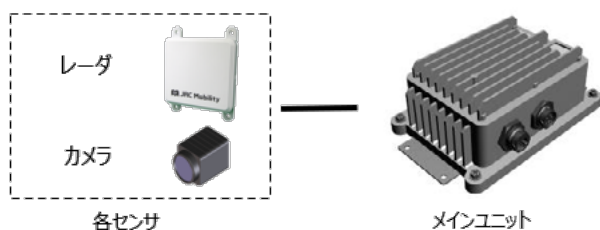
レーダとカメラのAI処理を用いた センサフュージョンで、周辺の人物・ 障害物を検知します



特長

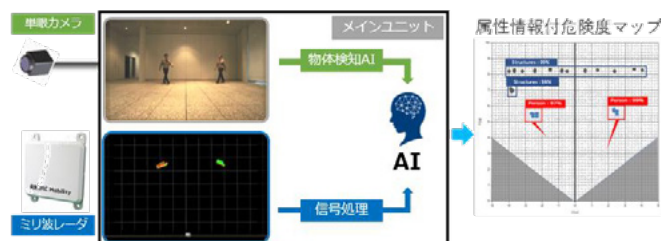
レーダとカメラで周辺物標を識別・検出

- ・センサの情報をもとにAI処理で物標検出
- ・物標の識別が可能
- ・近傍から広いエリアをカバー



センサフュージョン

カメラの識別と、レーダの位置・速度情報をフュージョンすることで、検知性能が向上します。



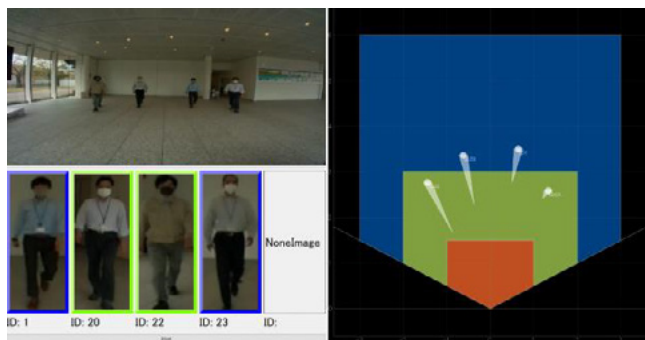
ユーザインターフェース

- ・汎用IO
警報を出力
- ・CAN/CAN FD
物標の詳細情報（位置、速度など）



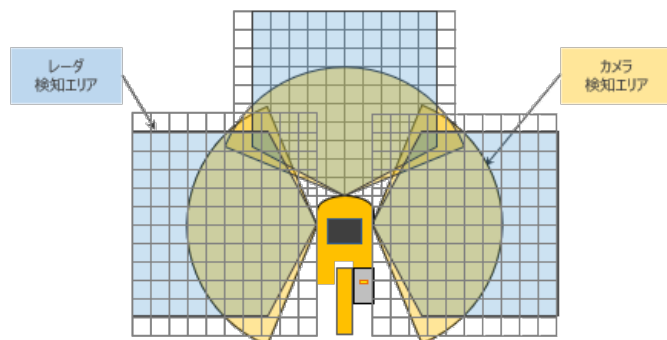
アプリケーションソフト

パソコンで評価可能なソフトをご用意。
(表示例)



使用例①：モビリティの死角監視

死角となる後方・側方の作業員や構造物を検知し、衝突の危険性があれば、警報若しくは制動を要求します。



*使用例①の三方向監視にはRAC 4D-Aiが3セット
(メインユニット×3, レーダ×3, カメラ×3)を必要とします。

使用例②：屋内外の侵入者の検知

カメラ, LiDARでは検知が難しい暗所や悪天候、草木が生い茂り誤った判断をしてしまう環境でも、RAC 4D-Aiは安定して検知します。



● 本資料に記載しております仕様やイメージは、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。